

## 拉致問題進展が 日朝会談の前提

米で河井氏講演

【ワシントン共同】訪米

中の河井克行自民党総裁外交特別補佐は2日、ワシントンで講演し、日朝首脳会談の可能性について「日本人拉致問題で進展がないのに、安倍晋三首相が北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長と会うことはできない」と指摘した。河井氏は「北朝

鮮と向き合うためには、制裁の維持など守るべきものは守りつつ、新しい柔軟な発想も求められている」との考えも示した。トランプ米大統領によるトッブダウンの外交手法が念頭にあるとみられる。

また、米朝の非核化交渉が進み、在韓米軍が撤収すれば「地域は戦後最大の危機に直面する」と警鐘を鳴らし「憲法、外交の理念と政策を根底から見直し、日本は独自で(敵基地への)打撃力を保有することを真剣に考えなくてはならなくなる」と述べた。